

刺又搭載を発表する意味があるのか？

今月の定例訓練で「**防護盾、耐刃手袋、耐刃ベスト**」の説明があった。これは7月25日本社が発表した「安全確保に向けた車内搭載品の充実等について」で防護装備の搭載を受けてのことだ。

訓練の中では実際に防具を装着、防護盾を持つなりするのだが、**刺又**の扱い方の説明も受ける。刺又など初めてのことで乗務員も興味津々で構えたりしたが・・・乗務員が扱うのか？会社は「**警備員など訓練されている方が使用する**」と口では言うが、社長会見で明らかにした以上、いざ事件が起こった時に乗務員が使わなければのちのち問題となりそうだ。そもそも「警備員用」というが頻繁に全区間警乗しているか？それと、失礼だが定年退職後と思われるくらいの警備員の方もいるが・・・そう思うと乗務員にプレッシャーがかかるぞ。

ところで、なんで会社は防護装備品を明らかにしたのかな～？普通は「**防護品を搭載するが安全を考慮し、装備品を明らかにするつもりはない**」でしょ？「安全対策は万全です」とアピールが狙いか？

また、防護用具の搭載のために3号車、15号車の「喫煙ルーム」を改装するという。ただでさえ、喫煙ルームは乗車後、下車前に多くのお客様が利用する。かなりのお客様が並ばれ、お客様同士のトラブルが発生しそうだ。なんか心配だな。安全対策でトラブルが頻発したら目も当てられない。